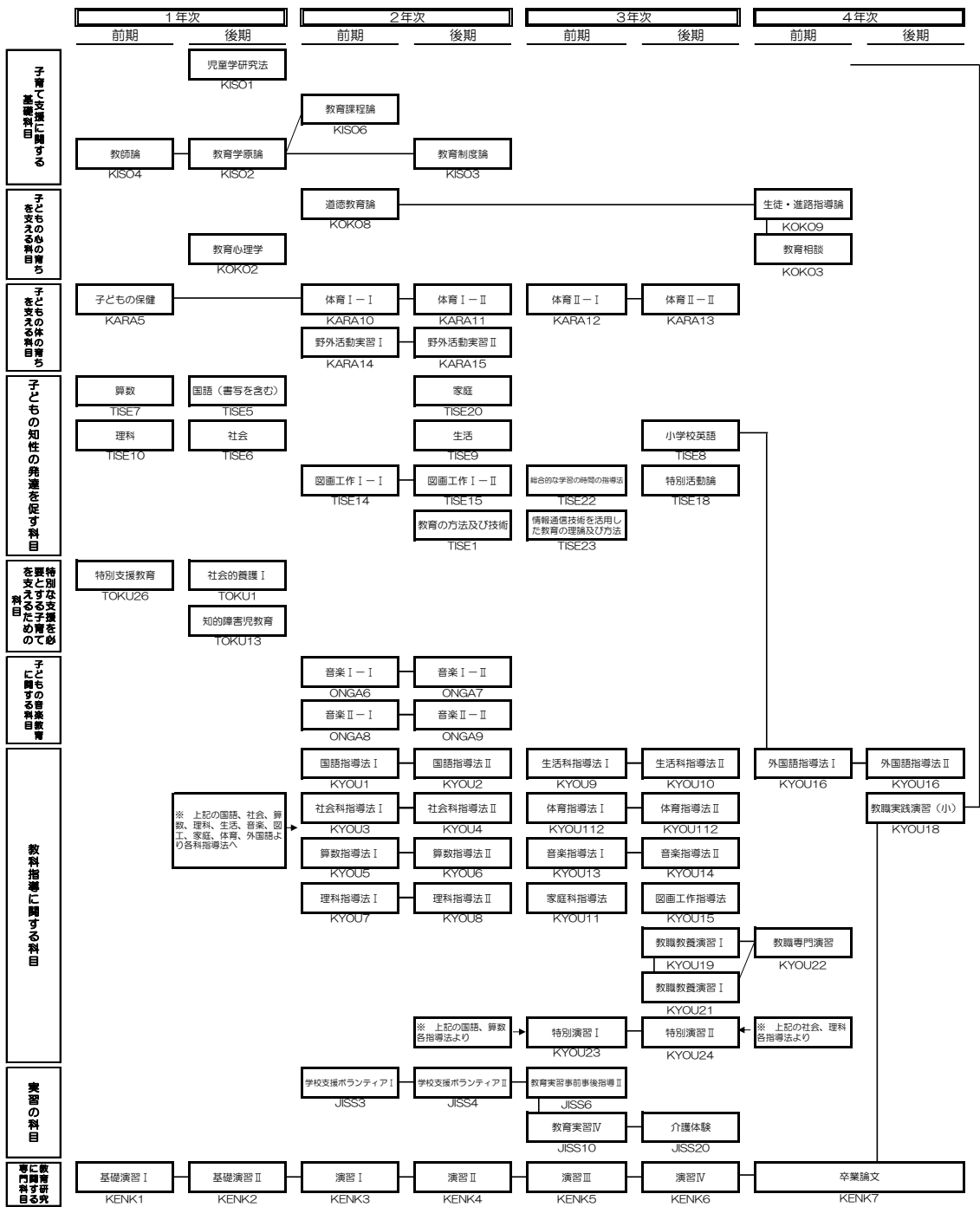


● 各コースの履修モデル（2023～2024年度入学生）

◆ 児童教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2	
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2	
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2	
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2	
	情報基礎演習		1										
	情報応用演習		1										
	日本語表現基礎Ⅰ		1										
	日本語表現基礎Ⅱ		1										
	英語Ⅰ	選必	1										
	英語Ⅱ	選必	1										
	健康とスポーツ		2										
	健康とスポーツ実習		1										
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2						9
		教育学原論	必修	2	教育課程論		2						
		教師論	必修	2									
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	道徳教育論		2			教育相談 生徒・進路指導論		2 2	8
		子どもの体の育ちを支える科目	子どもの保健		2	体育Ⅰ－Ⅰ 体育Ⅰ－Ⅱ 野外活動演習Ⅰ 野外活動演習Ⅱ		1 1 1 1	体育Ⅱ－Ⅰ 体育Ⅱ－Ⅱ		1 1		8
	子どもの知性の発達を促す科目	国語(書写を含む)		2	図画工作Ⅰ－Ⅰ		1	総合的な学習の時間の指導法		2			22
		算数		2	図画工作Ⅰ－Ⅱ		1	特別活動論		2			
		理科		2	教育の方法及び技術		2	小学校英語		2			
社会		2	生活		2	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1					
特別な支援を必要とする子育てを支える科目	特別支援教育 社会的養護Ⅰ 知的障害児教育		2 2 2									6	
子どもの音楽教育に関する科目				音楽Ⅰ－Ⅰ 音楽Ⅰ－Ⅱ 音楽Ⅱ－Ⅰ 音楽Ⅱ－Ⅱ		1 1 1 1						4	
教育実践に関する専門科目	教科指導に関する科目	国語指導法Ⅰ		1	生活科指導法Ⅰ		1	外国語指導法Ⅰ		1		1	27
		国語指導法Ⅱ		1	生活科指導法Ⅱ		1	外国語指導法Ⅱ		1		1	
		算数指導法Ⅰ		1	家庭科指導法		2	教職実践演習(小)		2		2	
		算数指導法Ⅱ		1	体育指導法Ⅰ		1	教職専門演習		1		1	
		理科指導法Ⅰ		1	体育指導法Ⅱ		1						
		理科指導法Ⅱ		1	音楽指導法Ⅰ		1						
		社会科指導法Ⅰ		1	音楽指導法Ⅱ		1						
		社会科指導法Ⅱ		1	図画工作指導法		2						
				1	教職教養演習Ⅰ		1						
				1	教職教養演習Ⅱ		1						
			1	特別演習Ⅰ		1							
			1	特別演習Ⅱ		1							
実習の科目			学校支援ボランティアⅠ 学校支援ボランティアⅡ		1 1	介護体験 教育実習事前事後指導Ⅱ 教育実習Ⅳ		1 1 4				8	
教育研究に関する専門科目	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	必修 必修	1 1	演習Ⅰ 演習Ⅱ	必修 必修	1 1	演習Ⅲ 演習Ⅳ	必修 必修	1 1	卒業論文	必修	4	10
計	25単位			34単位			31単位			13単位			103
合計	42単位			36単位			37単位			21単位			136

児童教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）

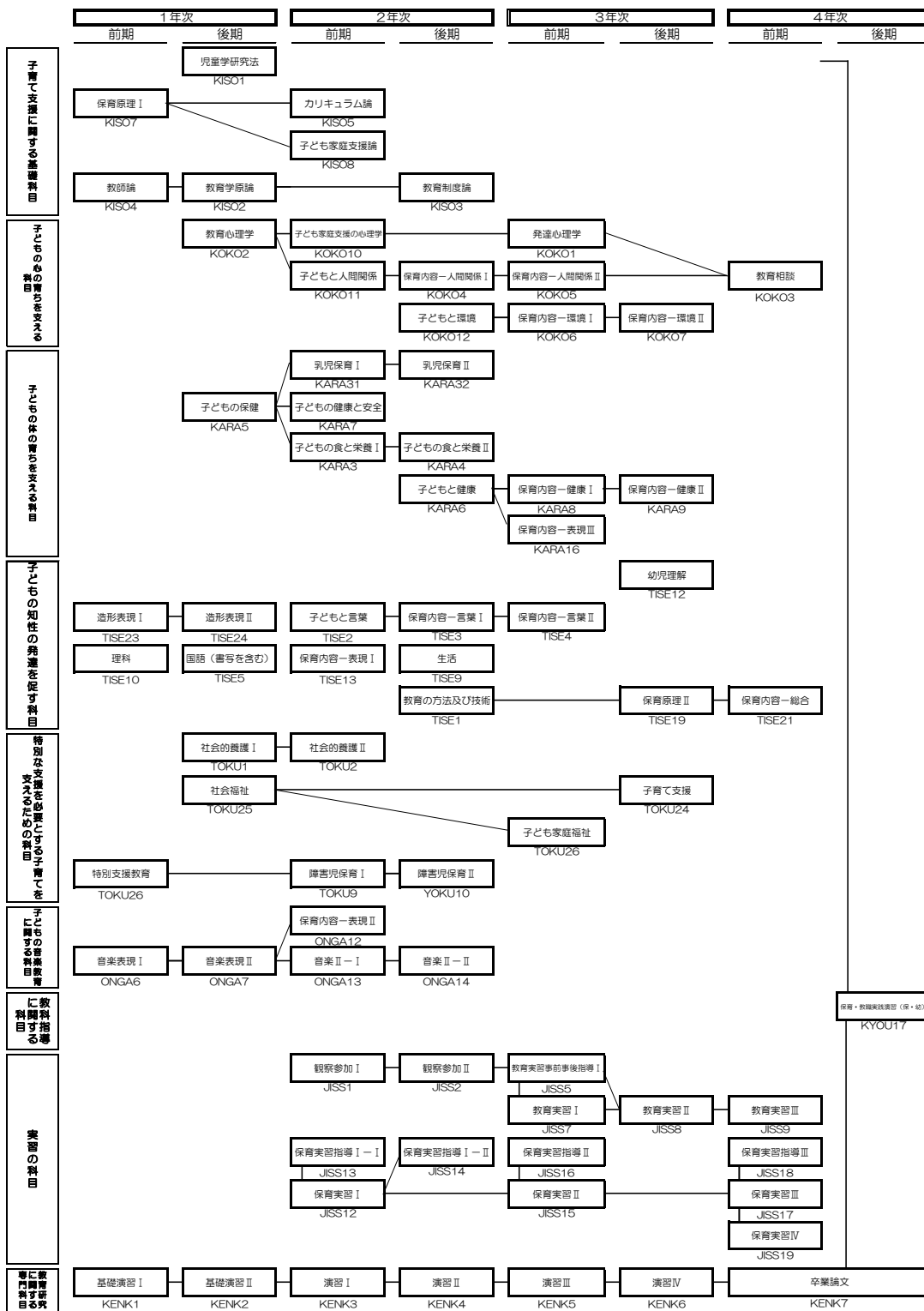


(注) 科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもの心の育ちを支える科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育研究に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観覧参加や教育実習にはJISSEとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えています。それらの後に数字（順番）を付け、出来るだけつながりがわかるようにしてあります。

◆幼児教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2	
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2	
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2	
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2	
	情報基礎演習		1										
	情報応用演習		1										
	日本語表現基礎Ⅰ		1										
	日本語表現基礎Ⅱ		1										
	英語Ⅰ	選必	1										
	英語Ⅱ	選必	1										
	健康とスポーツ		2										
健康とスポーツ実習		1											
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2						
		保育原理Ⅰ		2	カリキュラム論		2						
		教育学原論	必修	2	子ども家庭支援論		2						
		教師論	必修	2									
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	子ども家庭支援の心理学		2	保育内容-人間関係Ⅱ		1	教育相談		2
					保育内容-人間関係Ⅰ	1	保育内容-環境Ⅰ	1					
					子どもと人間関係	1	保育内容-環境Ⅱ	1					
	子どもと環境	1	発達心理学	2									
	子どもの体の育ちを支える科目	子どもの保健	2	乳児保育Ⅰ		1	保育内容-健康Ⅰ		1				
				乳児保育Ⅱ		1	保育内容-健康Ⅱ		1				
子どもの食と栄養Ⅰ					1	保育内容-表現Ⅱ		1					
子どもの食と栄養Ⅱ					1								
子どもの健康と安全					1								
子どもと健康		1											
子どもの知性の発達を促す科目	造形表現Ⅰ 造形表現Ⅱ 理科 国語(書写を含む)	1 2 2 2	教育の方法及び技術		2	保育内容-言葉Ⅱ		1	保育内容-総合		1		
			生活		2	幼児理解		1					
			保育内容-言葉Ⅰ		1	保育原理Ⅱ		2					
保育内容-表現Ⅰ		1											
子どもと言葉		1											
特別な支援を必要とする子育てを支える科目	特別支援教育 社会的養護Ⅰ 社会福祉	2 2 2	社会的養護Ⅱ		1	子育て支援		1					
			障害児保育Ⅰ		1	子ども家庭福祉		2					
			障害児保育Ⅱ		1								
子どもの音楽教育に関する科目	音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ	1 1	音楽Ⅱ-Ⅰ		1								
			音楽Ⅱ-Ⅱ		1								
			保育内容-表現Ⅱ		1								
教科指導に関する科目									保育-教職実践演習(保-幼)		2		
教育実践に関する専門科目	実習の科目			観察参加Ⅰ		1	教育実習事前事後指導Ⅰ		1	教育実習Ⅲ		2	
				観察参加Ⅱ		1	教育実習Ⅰ		2				
				保育実習Ⅰ		4	教育実習Ⅱ		2				
				保育実習指導Ⅰ-Ⅰ		1	保育実習Ⅱ		2				
				保育実習指導Ⅰ-Ⅱ		1	保育実習指導Ⅱ		1				
教育研究に関する専門科目	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	必修 必修	1 1	演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	卒業論文	必修	4	
				演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅳ	必修	1				
計	27単位			40単位			25単位			11単位			103
合計	44単位			42単位			31単位			19単位			136

幼児教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）

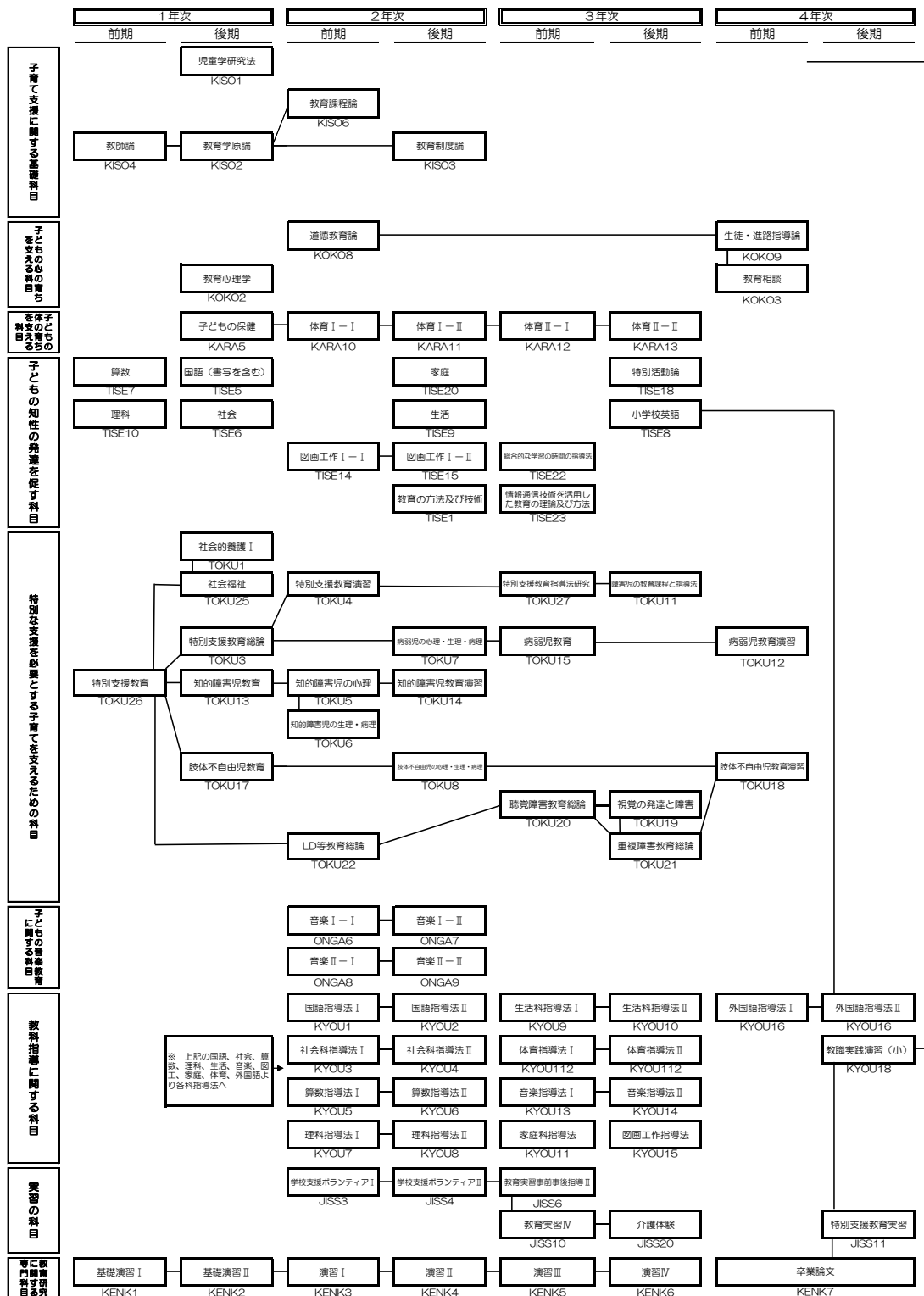


(注) 科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもの心の育ちを支える科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観察参加や教育実習にはJISSEとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えてあります。それらの後に数字(順番)を付け、出来るだけつながりがわかるようにしてあります。

◆特別支援教育コース

	1年次			2年次			3年次			4年次			計	
	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位	科目名	選択 必修	単位		
全学共通科目	日本国憲法		2	英語Ⅱ	選必	1	総合科目		2	芸術文化		2		
	うどん学		2	英語Ⅳ	選必	1	人権教育		2	ボランティア		2		
	香川学	必修	2				コミュニケーション演習Ⅰ		1	コミュニケーション表現		2		
	数理データサイエンスと未来	必修	2				コミュニケーション演習Ⅱ		1	人間と環境		2		
	情報基礎演習		1											
	情報応用演習		1											
	日本語表現基礎Ⅰ		1											
	日本語表現基礎Ⅱ		1											
	英語Ⅰ	選必	1											
	英語Ⅱ	選必	1											
	健康とスポーツ		2											
健康とスポーツ実習		1												
計	17単位			2単位			6単位			8単位			33	
子育て支援に関する専門科目	子育て支援に関する基礎科目	児童学研究法	必修	1	教育制度論		2							
		教育学原論	必修	2	教育課程論		2							
		教師論	必修	2									9	
	子どもの心の育ちを支える科目	教育心理学	必修	2	道徳教育論		2				教育相談 生徒・進路指導論		2	2
		子どもの体の育ちを支える科目	子どもの保健		2	体育Ⅰ-Ⅰ 体育Ⅰ-Ⅱ	1 1	体育Ⅱ-Ⅰ 体育Ⅱ-Ⅱ	1 1					6
	子どもの知性の発達を促す科目	国語(書写を含む)		2	図画工作Ⅰ-Ⅰ		1	特別活動論		2				
		算数		2	図画工作Ⅰ-Ⅱ		1	小学校英語		2				
		理科		2	教育の方法及び技術		2	総合的な学習の時間の指導法		2				
		社会		2	生活 家庭		2 2	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1				22
	特別な支援を必要とする子育てを支える科目	社会的養護Ⅰ		2	知的障害児の生理・病理		2	障害児の教育課程と指導法		2	病弱児教育演習		1	
特別支援教育総論			2	知的障害児の心理		2	特別支援教育指導法研究		1	肢体不自由児教育演習		1		
特別支援教育			2	病弱児の心理・生理・病理		2	病弱児教育		2					
社会福祉			2	肢体不自由児の心理・生理・病理		2	視覚の発達と障害		2					
知的障害児教育			2	知的障害児教育演習		1	聴覚障害教育総論		1					
肢体不自由児教育			2	特別支援教育演習 LD等教育総論		1 2	重複障害教育総論		1				35	
子どもの音楽教育に関する科目					音楽Ⅰ-Ⅰ 音楽Ⅰ-Ⅱ 音楽Ⅱ-Ⅰ 音楽Ⅱ-Ⅱ	1 1 1 1							4	
教育実践に関する専門科目	教科指導に関する科目	国語指導法Ⅰ		1	生活科指導法Ⅰ		1	教職実践演習(小)		2				
		国語指導法Ⅱ		1	生活科指導法Ⅱ		1	外国語指導法Ⅰ		1				
算数指導法Ⅰ			1	家庭科指導法		2	外国語指導法Ⅱ		1					
算数指導法Ⅱ			1	体育指導法Ⅰ		1								
理科指導法Ⅰ			1	体育指導法Ⅱ		1								
理科指導法Ⅱ			1	音楽指導法Ⅰ		1								
社会科指導法Ⅰ			1	音楽指導法Ⅱ		1								
社会科指導法Ⅱ		1	図画工作指導法		2							22		
実習の科目	学校支援ボランティアⅠ		1	介護体験		1	特別支援教育実習		3					
	学校支援ボランティアⅡ		1	教育実習事前事後指導Ⅱ 教育実習Ⅳ		1 4	(事前事後指導を含む)					11		
教育研究に関する専門科目	基礎演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅰ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	卒業論文	必修	4	10	
	基礎演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅱ	必修	1	演習Ⅳ	必修	1					
計	31単位			44単位			36単位			17単位			128	
合計	48単位			46単位			42単位			25単位			161	

特別支援教育コース履修系統図（左の頁の履修モデルに基づいて作成したものです）



（注）科目名の下の記号及び数字について
 子育てに関する基礎科目はKISOを、子どもを育てる科目にはKOKOを、子どもの心の育ちを支える科目にはKOKOを、子どもの体の育ちを支える科目にはKARAを、子どもの知性の発達を促す科目にはTISEを、特別な支援を必要とする子育てを支えるための科目にはTOKUを、子どもの音楽教育に関する科目にはONGAを、教科指導に関する科目にはKYOUを、実習の科目にはJISSを、教育研究に関する専門科目にはKENKを、それぞれ付けています。
 さらに、観察参加や教育実習にはJISSとしてEを加え、保育実習関係にはJISSNとしてNを加えてあります。それらの後に数字（順番）を付け、出来るだけつなげがわかるようにしてあります。